

平成24年度 国有林モニターアンケート (第2回) 結果概要

この度、国有林モニターの皆様から、森林・林業や国有林野事業に関する関心事項、ご意見、ご要望を伺うため、平成25年1月から2月にかけて国有林モニターアンケートを実施し、49人中36人の方に回答をいただきました（回答率73%）。ご協力有難うございました。

以下に、アンケートの結果を報告いたします。なお、自由意見は抜粋して掲載しております。

質問事項

- I 国有林モニター活動について
- II 森林の利用について

I 国有林モニター活動について

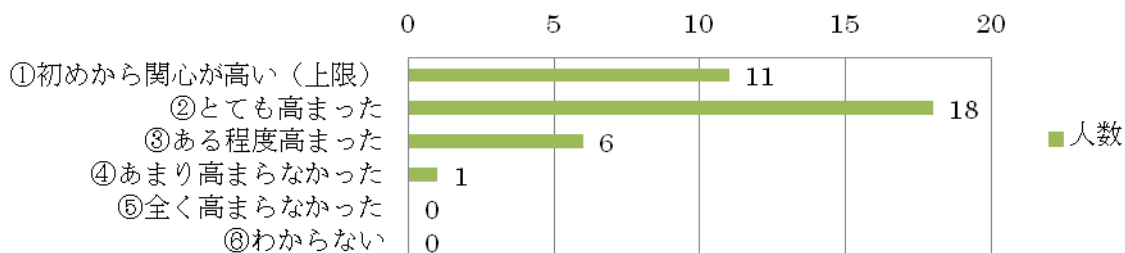
問1-1 国有林モニターの皆様は、森林・林業や国有林への関心から、国有林モニター活動へのご登録を頂いていると思います。モニター活動を通して、森林・林業への関心はさらに高まりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

- ①初めから関心が高い（上限）
- ②とても高まった
- ③ある程度高まった
- ④あまり高まらなかった
- ⑤全く高まらなかった
- ⑥わからない

まとめ

多くの方が、国有林モニター活動を通して関心が高まったと回答下さいました。国有林モニター活動を通して、特にモニター会議での現地見学等により森林・林業の情報に触れ、関心が高まったとの回答が多く寄せられました。いただいた回答は下記の回答例に記載します。

森林・林業への関心が高まったか



- 回答例・ボランティアやNPOでの活動など実施しており、もともと関心が高い
- ・配付される資料やモニター会議等を通じて、新しいことを知り、関心が高まった
 - ・主にレクリエーション活動に関心があったが、森林が有する多様な機能についても学べて関心がより高まった
 - ・特に、モニター会議は今までの概念を大きく変える機会だった
 - ・（育成などに）手間がかかっている分、無駄なく活用したい
 - ・他に（森林・林業の）情報に触れる機会が少ない など

問1-2 国有林モニターの活動を通して、森林の持つ多面的な機能についての知識が深まりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

問1-3 国有林モニターの活動を通して、林業や製材業についての知識が深まりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

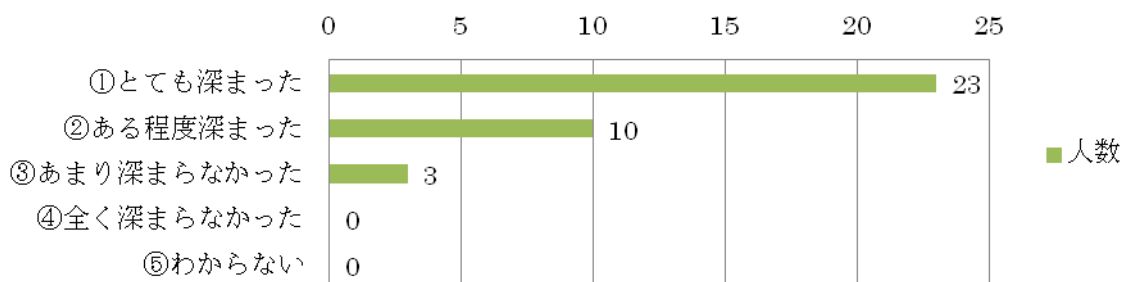
問1-4 国有林モニターの活動を通して、国有林についての知識が深まりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

- ①とても深まった ②ある程度深まった ③あまり深まらなかった
④全く深まらなかった ⑤わからない

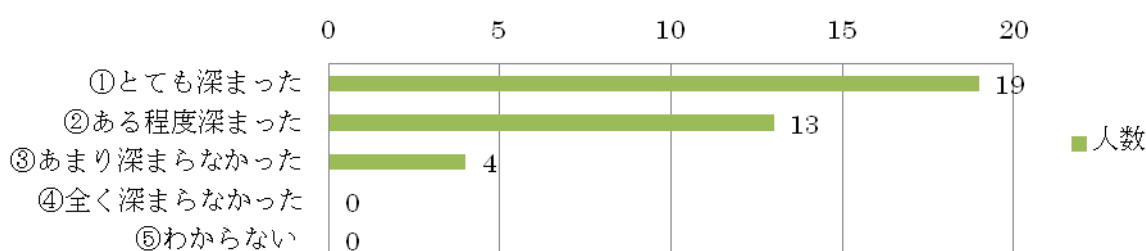
まとめ

多くの方が、資料の内容やモニター会議を通じて、森林の多面的機能、林業・製材業、国有林に関する知識が深まったと回答下さいました。『モニターになる以前から知っていたことに加えて、さらに多くの、新しい情報を得られて良かった』『森林のもつ多面的な機能の重要性がわかった』『国有林が多様な業務を行っていることがわかった』などの感想が聞かれました。いただいた回答は下記の回答例に記載します。

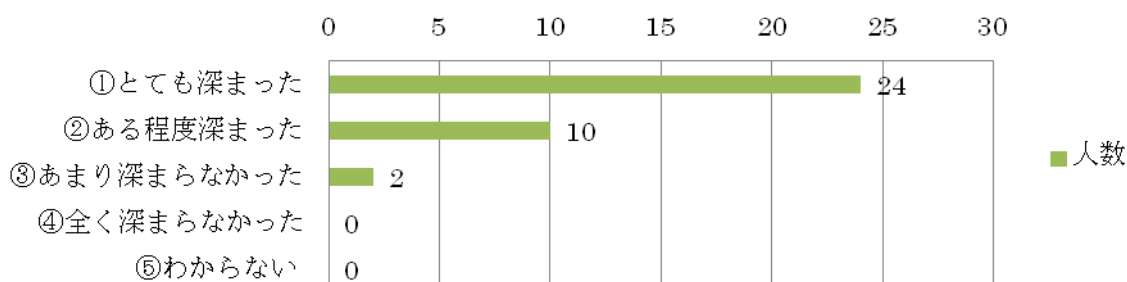
森林のもつ多面的な機能についての知識が深まったか



林業や製材業についての知識が深まったか



国有林についての知識が深まったか



回答例<森林のもつ多面的な機能についての知識が深まったか>

- ・ 資料やモニター会議で知識が深まった
- ・ ある程度知っていたが、初めて知った内容もあり、勉強になった
- ・ 情報量が多く、同じ山林を持つ立場として、取組や内容は非常におもしろかった
- ・ 現地見学で、机上の資料とは違う効果を感じた
- ・ 災害防止や水源として、森林が非常に大事だと思う
- ・ これからの課題も気付かされ、モニターになって良かった
- ・ 送られてくる資料だけでは、少し難しい部分があった（あまり深まらなかった）
- ・ 全くの素人であり、知識等がなかったため（あまり深まらなかった） など

<林業や製材業についての知識が深まったか>

- ・ 用材の供給に、製材業が深く関わっていることがわかった
- ・ 林業経営や国産材利用について考えさせられた
- ・ 情報提供により、知識が深まった
- ・ まだまだわからないことも多くあるのではないかと思う
- ・ 地域や周囲の林業や製材業に興味を持ち、調べてみる行動につながった
- ・ 製材所の見学に行き、大きな材の価格の安さに驚いた
- ・ 木材の多様な利用を知った
- ・ 森林の再生は製材業の再生であり、有効かつ効果的に結びつけていくことの重要性を知った
- ・ 林業はともかく、製材業は相対的に内容が薄かった など

<国有林についての知識が深まったか>

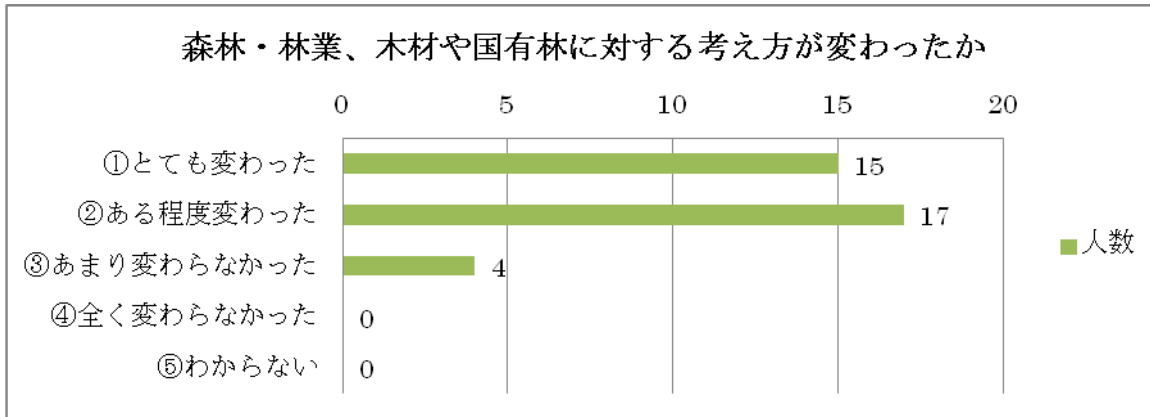
- ・ 手つかずの大自然というわけではなく、手入れされていることを知った
- ・ 戦後からこれまでの歩みや、今後の課題等多くの人に知ってもらいたい
- ・ 原生林を伐採、販売が主な業務と思っていたが、生産から国土の保全まで多岐にわたる政策で国民に多面的な利益を提供している
- ・ 民間の林業経営の健全化のため、行政がモデル事業を展開し、リスク回避に努めているのが理解できた
- ・ 専門家より見て深まらなかった
- ・ パンフレット等を通じて、森と生物と人とが複雑なつながりを持っていることを実感した
- ・ 国有林の管理が将来を見てやっていることがわかった
- ・ 広報誌を通して、いろいろな分野での活動が理解できた。シカ対策等、一般には知られていないことが多くあると思う
- ・ 国有林の現状と課題についてよく分かった。しかし、国有林と周辺の人々とのつながりが浅いと感じた
- ・ 「どこにどの程度あるのか」から始め、もっと普及に力を注ぐべき など

問1-5 国有林モニターの活動を通して、森林・林業、木材や国有林に対する考え方が変わりましたか？次の中から一つだけお答え下さい。

- ①とても変わった ②ある程度変わった ③あまり変わらなかった
④全く変わらなかった ⑤わからない

まとめ

多くのモニターの方から、新しい情報を得て考え方が変わったとの回答をいただきました。特に、国産材の利用によって森林が健全に保たれる仕組みが、多くの方にご理解頂けました。いただいた回答は下記の回答例に記載します。



回答例・モニター活動をしてからわかったことがたくさんある

- ・何もしないことが森林を守ることだと思っていた。それが間違っていると理解した
- ・自然は、大切にしないといつか無くなり、自分の立場も悪くなるのだと強く思った
- ・自給率アップは、食品だけの問題ではない
- ・国有林の持つ使命の大きさがわかった
- ・国民がもっと積極的に関心を持つことが大切だ
- ・森林管理局の仕事（多さ）がわかった
- ・地元材を、その地域で使う施策があれば、より流通すると思う
- ・「九州材」としての、九州全体が一丸となった取組の重要性を感じる
- ・今まで歩いた山の一部が国有林であると初めて知り、興味を持った
- ・国有林の重要性と保護の大切さを知った。さらに日常生活への木材の活用を進めなければいけないと思う
- ・木材業界内でも認知が不十分で、関係業界との意識のズレを感じる。知っている人達だけで抱えていることが問題だと思う
- ・「お先真っ暗」と思っていたが、さまざまな取組をみて、希望がでてきた

問1-6 森林・林業、国有林に関する知識を深めるために、独自に取り組んだことはありますか？次の中から一つだけお答え下さい。

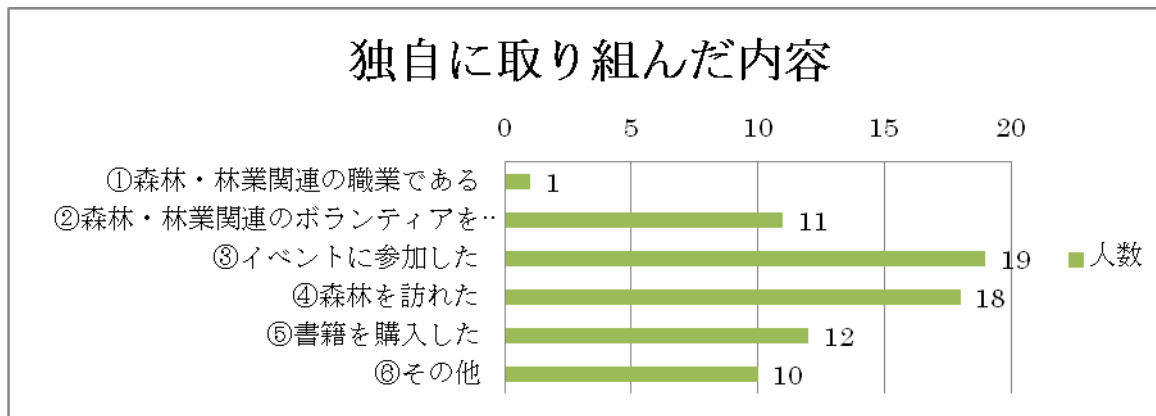
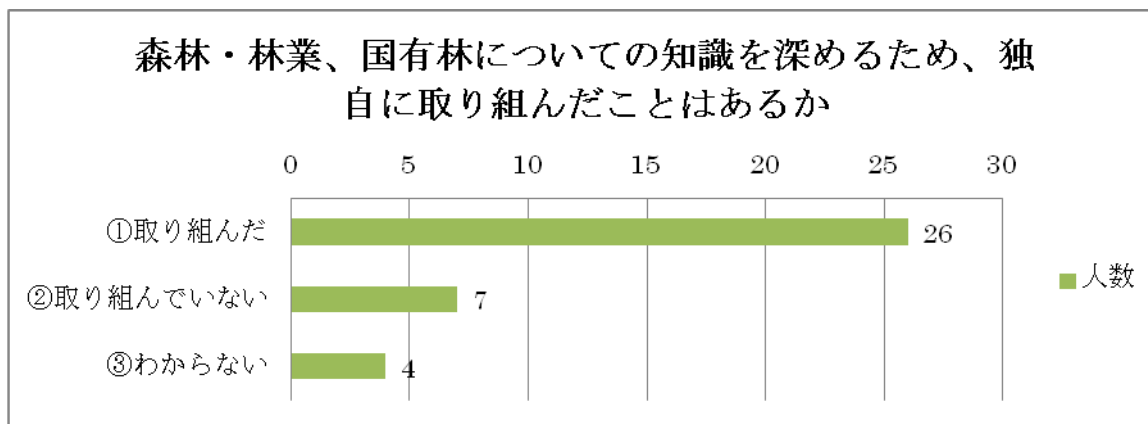
- ①取り組んだ ②取り組んでいない ③わからない

問1-7 上記問1-6で、「①取り組んだ」とお答えいただいた方は、どのようなことに取り組まれましたか？次の中からいくつでもお答え下さい。

- ①森林・林業関連の職業である ②森林・林業関連のボランティアをしている
③イベントに参加した ④森林を訪れた ⑤書籍を購入した ⑥その他

まとめ

回答いただいたモニターの多くが、国有林モニター活動以外にイベントに参加や森林を訪れるなどの活動を行っていました。「もともと（森林や登山、ロッククライミング等に関係する）ボランティア活動などに関わってきた」や「所有山林の管理に意欲的に取り組むようになった」などの回答をいただきました。取組の内容は下記の回答例に記載します。



- 回答例・ボランティア活動に取り組んだ（森づくり活動、観察会開催、登山案内、記録文の寄稿、ロッククライミングの案内、登山道復旧工事、阿蘇の野焼き、など）
- ・森林・林業関係のイベントに参加した（植樹祭、九州森林・林業セミナー、木質バイオマスワークショップ、地元自治体のイベント、など）
 - ・所有山林の管理（植栽、下刈り、枝打ち、子や孫達と一緒に取り組んだ、など）
 - ・森林を訪れた（森林浴、バードウォッチング、野鳥の調査、地域の神木を見に行く、など）
 - ・資料としての本を読むようになった（図書館利用、書籍の購入、など）
 - ・親戚や近所の子供達に、木工品を手作りしてあげた
 - ・「木になる紙」製品の利用

問1-8 九州森林管理局では、国有林モニターの方に、広報誌や国有林に関する資料を送付し、国有林の役割や現状といった情報をお知らせすると共に、国有林モニター会議への参加やアンケートへの回答等を通じて、ご意見をいただくこととしております。

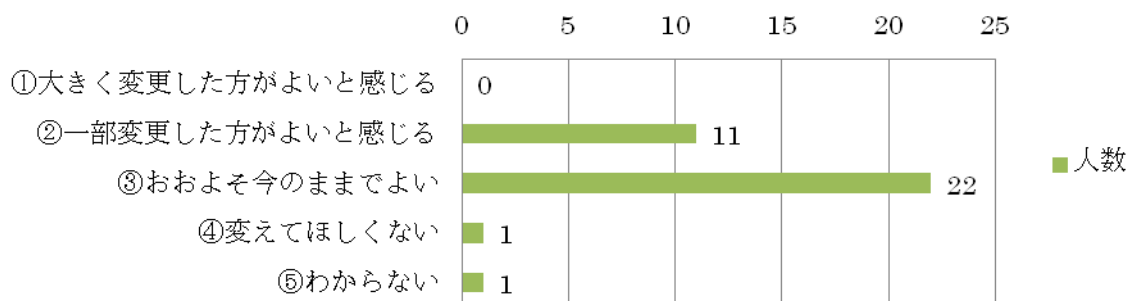
次年度以降の国有林モニターの取組について、変更した方がよいと感じることはありますか？次の中から一つだけお答え下さい。

- ①大きく変更した方がよいと感じる ②一部変更した方がよいと感じる
③おおよそ今のままでよい ④変えてほしくない ⑤わからない

まとめ

国有林モニター活動について、おおよそ今のままでよいという回答が最も多くあり、次いで、一部変更した方がよいと感じる方が多いという結果になりました。いただいた意見を、今後のモニター活動をよりよいものにしていくために、反映させていきたいと思っております。

次年度以降の国有林モニターの取組について



回答例：「おおよそ今のままでよい」という内容のご意見を多数いただきました。ここでは、それ以外の方から出された、変更した方が良くと思う内容等について記載いたします。

<資料等について>

- ・ 詳しい人にとっては、現在よりもさらに踏み込んだ情報が欲しいかも知れない
- ・ 国有林モニターのレベルアップを図るような取組をしてはどうか。例えば、森林検定、マスター認定のような仕組みを作ってはどうか
- ・ 諸外国の森林・林業の情報も提供して欲しい
- ・ 資料が難しい（資料よりも現場を見たい、素人には難しい、堅い、など）
- ・ 広報九州や資料の送付などは、希望者に聴いてみてはどうか
- ・ アンケートの内容について、現状のままでよいか疑問

<モニター会議について>

- ・ モニター会議（現地見学）に参加しやすいよう工夫してほしい（参加しやすい時期、年数回の開催、複数回の参加、各県での開催、自由参加にしてほしい、など）
- ・ 一泊二日で、時間にゆとりを持ったスケジュールで実施して欲しい
- ・ モニター活動への意識や熱意などによって、参加者を分けて実施してはどうか

<その他>

- ・ もっと協力して欲しいことや取り組んで欲しいことを出して良い
- ・ モニター制度を広め、登録者数を増やして欲しい（特に女性や若い人）
- ・ イベント等は、企業や自治体と共催した方が効果的だと思う
- ・ 林野庁広報誌「RINYA」のアンケートは必要ないと思う
- ・ モニターとしての活動期間を1年から2年に延長して欲しい

II 森林の利用について

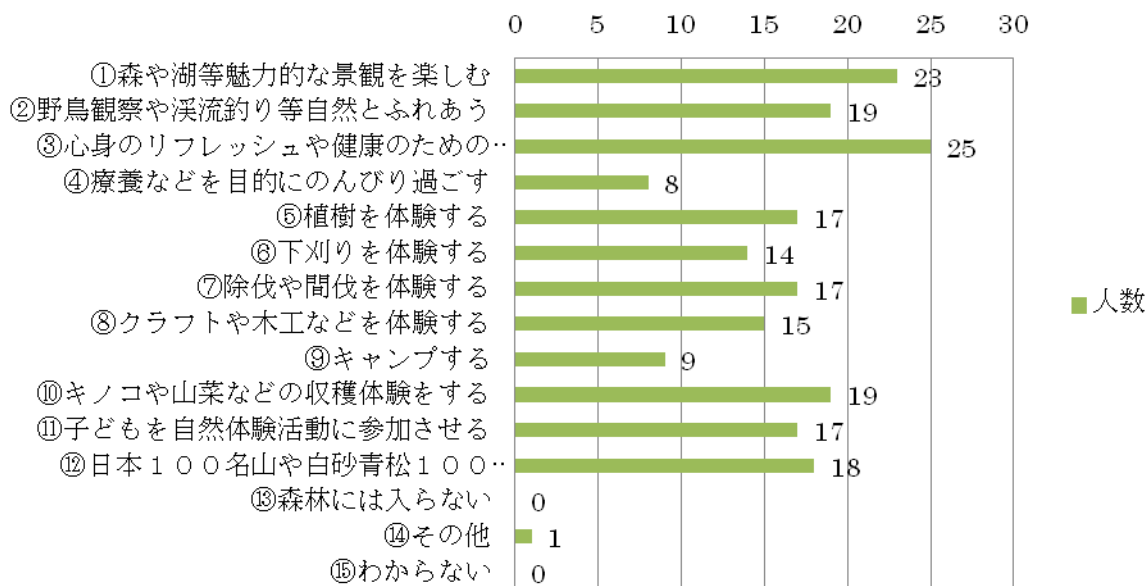
問2-1 皆さんが森林空間で活動する時に、どのようなことをして過ごしたいですか？次の中からいくつでもお答え下さい。

- ①森や湖等魅力的な景観を楽しむ
- ②野鳥観察や溪流釣り等自然とふれあう
- ③心身のリフレッシュや健康のための森林浴をする
- ④療養などを目的にのんびり過ごす
- ⑤植樹を体験する
- ⑥下刈りを体験する
- ⑦除伐や間伐を体験する
- ⑧クラフトや木工などを体験する
- ⑨キャンプする
- ⑩キノコや山菜などの収穫体験をする
- ⑪子どもを自然体験活動に参加させる
- ⑫日本100名山や白砂青松100選などの名所を巡る
- ⑬森林には入らない
- ⑭その他
- ⑮わからない

まとめ

今回いただいた回答の中では、心身のリフレッシュや健康のための森林浴をして過ごしたいという回答が最も多く出されました。次いで、森林の魅力的な景観を楽しむ、自然とふれあう、収穫体験したい、名勝地を訪れたいという回答が多く、森林空間で楽しいひとときを過ごしたいという回答が多い結果となりました。また、回答下さった方の半数が保育作業や木工等を体験したいとの希望が出され、林業への関心の高まりが現れていると言えます。

森林空間でどの様なことをして過ごしたいか



回答例：森林での過ごし方について、多くの回答があったので、記載して紹介します。

- ・森林空間には、子どもと遊ぶ道具や方法がまさに山程ある
- ・収穫体験については、経験がない人も多く、体験会など森林を活用したらいい
- ・青少年育成やヒーリングなど、森林の効果をもっと前に出した中身が欲しい
- ・森に入るツアーを実施して欲しい（知る人ぞ知る場所、林業関係者しか知らない場所に行きたい）
- ・バレンタインやクリスマス、婚活行事など、何かに絡めて森林でのイベントを実施したらよい
- ・森林でキャンプ等の活動をし、薪を集めて煮炊きなどすれば、災害時にガスが無くても煮炊きが出来るという体験が出来、最高だと思う

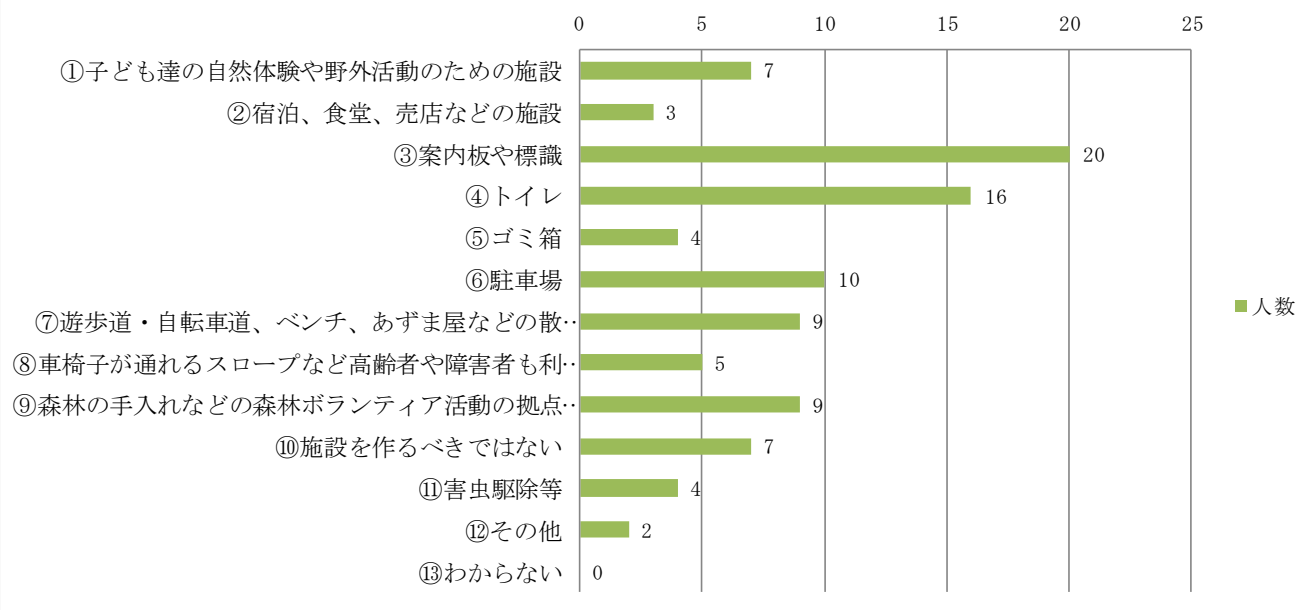
問2-2 皆さんが森林空間で活動をするときに、整備しておいてほしいと思う条件は何ですか？次の中から三つまで選んでお答え下さい。

- ①子ども達の自然体験や野外活動のための施設 ②宿泊、食堂、売店などの施設
 ③案内板や標識 ④トイレ ⑤ゴミ箱 ⑥駐車場
 ⑦遊歩道・自転車道、ベンチ、あずま屋などの散策・休憩施設
 ⑧車椅子が通れるスロープなど高齢者や障害者も利用しやすい施設
 ⑨森林の手入れなどの森林ボランティア活動の拠点となる施設
 ⑩施設を作るべきではない ⑪害虫駆除等 ⑫その他 ⑬わからない

まとめ

今回いただいた回答の中では、森林空間で安全に活動するために、案内板の設置が必要であるとの意見が多数ありました。必要な施設について、「利用するために必要な施設は整備すべき」「（利用しやすさを重視して）可能な限り整備して欲しい」というような希望があった一方、「森林に人工物を入れることには反対」というような意見もありました。また「利用しやすさと森林環境維持のバランスが難しい」との回答もあり、利用者本人の事情や利用の目的などにより、求める施設が大きく異なるなど、幅広い回答が寄せられました。

森林空間で活動する際に整備しておいてほしい条件



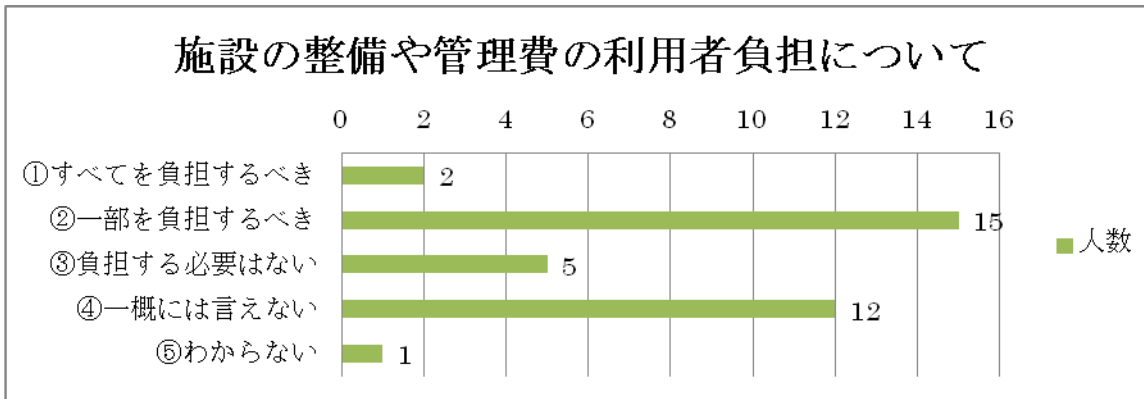
- 回答例・①子供の自然学習等がまだまだ不足している。もっと活動を含めて整備して欲しい
 ・②夏に宿泊して夜間の森林観察や薪を使った自炊などで学習できると思う
 ・③登山していて、案内板が中途半端で危険と感ずることがある
 ・④今どきの若者などにも優しい整備をしてほしい。ポットンはキツイ
 ・⑤ゴミ箱は管理回収が大変ですが、整備して欲しい
 ・⑥駐車場がないと、山にいけない（まわりの車に迷惑をかける）
 ・⑦⑧親などを森林に連れて行ったときに苦労した経験から、整備を望む
 ・⑨ボランティアの活動が望まれるときに、拠点となる施設があった方が良い
 ・⑩多くの人が活動することは、森林環境には害になると思う
 ・⑪蜂やヒルなどへの対策を希望する
 ・⑫適切な情報提供、樹木の名札があるといい、自然との距離は考えるべき など

問2-3 問2-2にあるような施設の整備や管理をするための費用について、利用する人は負担すべきだと思いますか？次の中から一つお答え下さい。

- ①すべてを負担すべき ②一部を負担すべき
③負担する必要はない ④一概には言えない ⑤わからない

まとめ

今回いただいた回答では、一部を負担すべきという回答が最も多く、次に利用や整備のしかたなどによって変わるので一概には言えないとの回答が多い結果となりました。回答いただいた内容を、下記の回答例に記載して紹介致します。



回答例・①利用者が負担するのは当然

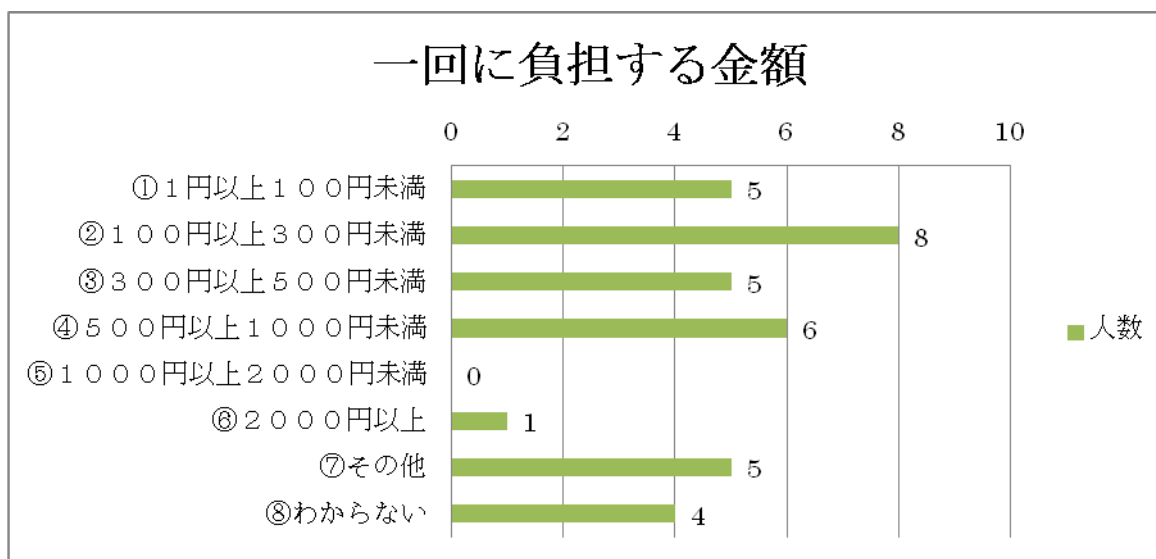
- ・②全ての国民が施設を利用するわけではないので、利用者負担が妥当
- ・②寄付の形などもあるが、利用者が自己負担するのは当然
- ・③税金を払っているので、さらに負担する必要はない
- ・③自然の中で過ごすのにお金が必要とは思えない。森に自由に入れなくなる
- ・④利用費を負担することになれば、利用しにくくなる
- ・④山や森林にもいろいろな形態があるが、理解を得られれば良い
- ・④受益者は誰なのか、保全自体、公益面と個人（資産）の二つの考え方があり、片寄るべきでない
- ・⑤この設問では、必要性や計画性がわからない

問2-4 問2-3にある施設の整備や管理をするための費用について、一回に利用者が負担する金額はどのぐらいが適当と思われますか？次の中から一つお答え下さい。

- ①1円以上100円未満 ②100円以上300円未満
 ③300円以上500円未満 ④500円以上1000円未満
 ⑤1000円以上2000円未満 ⑥2000円以上
 ⑦その他 ⑧わからない

まとめ

今回いただいた回答では、多くの方が1000円以下の負担が適当と回答され、最も多い回答を集めたのは、100円以上300円未満の負担が適当というものでした。回答いただいた内容を、下記の回答例に記載して紹介致します。



回答例・①高額な負担は望ましくない

- ・①無茶な利用を避けるために、少しは良いと思うが、基本は税で賄って欲しい
- ・②あまり高いと誰も利用しなくなる
- ・②経費によって変わるので簡単に言えないが、このくらいなら気楽に利用できる
- ・③ワンコインくらいまでだと思う
- ・④一回の利用時に負担する金額ということなら、このくらいかと思う
- ・④子どもが利用できる程度にして欲しい
- ・⑥各種保険やイベント等も検討して提供したらいい
- ・⑦⑧内容によって異なる
- ・⑦税金を使って（施設整備など）自然破壊はしないで欲しい

今回のアンケートでは、国有林モニター制度と森林の利用等について、一年間国有林モニターとして活動にご協力いただいた方のご意見をうかがいました。森林・林業や国有林野事業に対する、幅広い期待や情報提供を求める声など、大変多くのご意見をいただきました。ご協力誠にありがとうございました。

いただいたご意見を今後の国有林野事業に反映させるよう、また、特に国有林モニター制度の充実などに努めて参ります。